

シンポジウム



デーノタメ遺跡^{ひら}が拓く 縄文の世界Ⅳ

— 縄文の食文化に学ぶ —

申込不要

入場無料

日 時

2026年

3月7日 土

13:00 ▶ 17:00
※12:00開場

場 所

北本市
文化センター

埼玉県北本市本町1丁目2番地1
※お席は先着順となります

主 催 北本市教育委員会

共 催 明治大学資源利用史研究クラスター

【写真】上部左：コナラ、上部中央：トチノキ、上部右：ナラガシワ、中部上：トチノキ、中部下：ナラガシワ、下部左右：オコゲが付着した土器

シンポジウム



デーノタメ遺跡^{ひら}が拓く 縄文の世界Ⅳ

ー 縄文の食文化に学ぶー

デーノタメ遺跡は、北本市下石戸下地区に所在する縄文時代中期（約5,000年前）から後期（約3,500年前）にかけての大規模集落跡です。

台地の下には、湧き水によって守られた「低地遺跡」が残されており、通常なら腐ってなくなってしまう木の実や木材などがたくさん出土しています。これらを詳細に調べることによって、当時の食生活や環境の変化を明らかにすることができます。

今回のシンポジウムでは、専門家や市民団体などによる報告・パネルディスカッション等を通じ、デーノタメ遺跡からみた「縄文の食文化」について考えます。

プログラム

ホール

開会・主旨説明

13:00 ▶ 13:15

特別研究講演

13:15 ▶ 13:55

・クリとクルミとトチノミと…

佐野 隆 / 茅ヶ岳歴史文化研究所 主任調査技師

研究報告

13:55 ▶ 15:25

- ・土器のオコゲからみた生業活動
- ・木の実を食す
- ・縄文土器の製作と使用実験

米田 穰 / 東京大学総合研究博物館 教授

栗島 義明 / 明治大学黒耀石研究センター 客員研究員

阿部 芳郎 / 明治大学 文学部教授

活動報告

15:25 ▶ 16:05

- ・デーノタメ縄文の杜プロジェクト
- ・明治大学資源利用史研究クラスター協力員

パネルディスカッション

16:15 ▶ 17:00

閉会

17:00 ▶



同時開催

ホワイエ

出土品等展示

12:00 ▶ 17:30

ガイドブック& ①12:00 ▶ 12:50

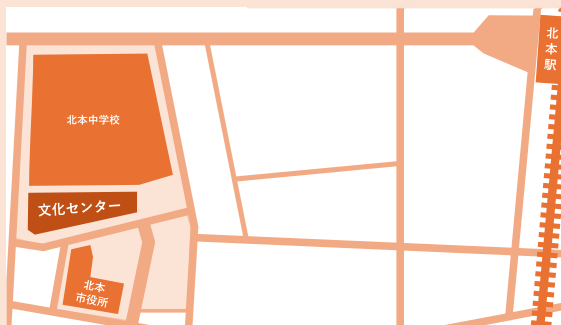
縄文みやげ販売 ②17:00 ▶ 17:30

アクセス

北本市
文化センター

圏央道「桶川北本IC」
より約3km

JR高崎線北本駅 西口
より徒歩約10分



詳細は
こちら



問い合わせ

北本市教育委員会 文化財保護課

〒364-8633 埼玉県北本市本町1丁目111番地

☎ 048-594-5566 ✉ a04700@city.kitamoto.lg.jp

